

個人山行

## 薩摩半島：開聞岳

- ◆日程 2022年11月5日(土)
- ◆メンバー L: OT
- ◆天候 晴れ

二日目は未明に移動開始、まずは開聞岳麓の駐車場を目指した。

空も明るくなりだしたところで駐車場着。駐車場はすでにほぼ満車。関東からの車も見られる。多くはすでに登山開始しているのだろう。早速自分も登り始める。

登山口から暫くはシダが多い樹林というより藪だ。鳥の鳴き声が至る所から聞こえ、冬が近づいている感じがしない。早朝でもさほどの寒さを感じない。南国に来たのだと実感する。開聞岳の登山ルートは山を反時計回りに螺旋状に進む独特なコースの一本だけ。景色がぐるりと変わっていくので飽きることはない。南側に開けた場所に、近隣の島の位置関係を記したプレート。残念ながら屋久島の辺りは雲が掛かっている見えない。西寄りに煙を吹く硫黄島は見える。これも急峻な火山だ。山頂からの景色に期待が増してくる。初め、足元は細かい砂礫だったところ、終盤に近づくにつれて大きな岩になり、ちょっとしたクライミング気分も味わえた。山頂に躍り出るとほぼ360度の展望。特に錦江湾から霧島へ続く眺めは地図を鳥瞰するようで圧巻だ。土曜日ということもあってか狭い山頂は登山者であふれてきた。ひとしきり景色を堪能できたので山頂を後にする。屋久島に行ったことがあるという若い技術者さんと理系トークに花を咲かせながら楽しく下山。

早目に下山できたので、レンタカーを駆使して観光へ。開聞岳を背景としたビューポイントとして、西大山駅(日本最南端駅)、長崎鼻(浦島太郎伝説)、池田湖(イッシー伝説)。お昼ご飯に鯉漁港として有名な山川港。入浴に砂蒸風呂と時間一杯までミーハーに満喫。帰りは桜島を眺めながら錦江湾沿いに走行。鹿児島市街の渋滞にはまったが、市電が走りクラシカルなアーケードがヨーロッパ調でお洒落な天文館と、飽きることはなかった。鹿児島空港発20時25分の便に乗るまで、念願だった南九州登山を満喫する二日間だった。次回はゆっくりできる日程で訪れたい。

(記: OT)

CT: 道の駅指宿=かいもん山麓ふれあい公園駐車場 6:25 - 開聞岳 8:00/8:40 - 駐車場 10:10 = 長崎鼻 = 道の駅山川港 = 塩浸温泉龍馬公園 = 砂むし会館砂楽 = 池田湖 = 鹿児島空港

